

提出 順番	No. 3	令和 8 年 8 月 21 日 (午前) 午後 11 時 6 分受領
----------	----------	---------------------------------------

令和 8 年 8 月 21 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
コミュニティバスを子どもの学び・地域活動を支える資源に	現在、本町では幕別線、札内線のコミュニティバスが運行されております。高齢者の移動支援や公共施設へのアクセス確保など、地域にとって大切な役割を担うものであると考えます。 しかしながら、現状としては、町民の中で「絶対に必要な交通手段」として十分に定着しているとはまだまだ言い切れず、これまでも運行内容や利用促進について、さまざまな意見が出されてきたものと承知しています。町としても常に見直しを図りながら、改善を重ねていることを理解しておりますが「どのような目的で、誰に使ってもらうのか」という視点について、あらためて考え直していく必要があると考えます。 特に子どもたちの放課後の移動支援という視点です。 部活動、地域クラブ、少年団、文化活動、図書館利用など、子どもたちの放課後の活動は多様化しております。しかし、実際には保護者の送迎に頼らざるを得ない場面が多く、仕事の都合などにより、活動への参加に差が生じることも考えられます。これは、子どもの学びや体験の機会、さらには保護者負担の面からも、町として考えるべき課題と考えます。 また、ほとんどの学校では、近くに図書館がなく、授業の一環で議場見学に来られた子どもたちからも「身近に図書館がほしい」という声が挙がっておりました。図書館を新たに整備することは財政的にも今後の町づくりにおいても現実的ではありませんが、既存の図書館や百年記

	念ホールなどの公共施設に行きやすく、一定時間滞在して帰ることができる交通の仕組みを整えることは、現実的で効果的な方策ではないかと考えます。 コミュニティバスは、運行経費だけを見ると負担に見えることもありますが、子どもの居場所づくり、読書活動の推進、スポーツ・文化活動の参加機会の確保、保護者の送迎負担の軽減、公共施設の利用促進につながるのであれば、町民にとっても町にとっても価値のある投資になり得ると考えることから、以下の点について伺います。 1 コミュニティバスの現状評価について 利用状況、利用者層、時間帯ごとの乗車状況、目的地ごとの利用傾向についてどのように評価しているのか。 2 子どもの放課後利用を想定した運行について 16時から19時頃の時間帯で子どもたちを主な対象とした実証運行や、長期休業期間中などの試験運行を行う考えは。 3 子どもたちや保護者へのニーズ調査について 「この時間にこの場所へ行けるなら使うか」「帰りの便があれば利用するか」「保護者の送迎負担を減らすためには」といった具体的なニーズ調査をあらためて行う考えは。
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。